



### 5月の予定

★ゆめじゆく編集委員会	★人権・同和教育行事	月 日 曜 日 直
10日(月) 13時30分～		
★移動図書館青い鳥号	★5月14日(金) 女性部総会・研修会	
26日(水)	★5月26日(水) 隣保館職員・所管課職員新任者研修会	
14時～14時40分		



## 「STOP! コロナ差別 ～愛顔を守ろう～」

新居浜市では、愛媛県等と連携して「STOP! コロナ差別～愛顔を守ろう～」キャンペーンを実施しています。

私たちの敵は、「人」ではなく「ウイルス」です。

感染者等への差別や偏見、誹謗中傷は絶対にあってはなりません。インターネットやSNS等での無責任な情報発信はやめましょう。私たち一人ひとりが思いやりの気持ちをもって、愛顔を守っていきましょう!

私たちの敵は「人」ではなく「ウイルス」です。

愛媛県/松山地方裁判所/愛媛県人権擁護委員連合会/  
愛媛県人権啓発活動ネットワーク協議会  
私たちはシトラスリボンプロジェクトに賛同しています

## 瀬戸会館北側広場整備事業

こども広場(旧隣保館跡地)にあった**歴代議員頌徳碑**(地区の発展に尽力された方々の名前や功績等が記されている碑)、**火葬場建築記念碑**(旧火葬場が、現在の松原団地近くの消防団泉川分団詰所付近に建てられていたことを記念する碑)と旧貯水槽管理棟跡にあった**上水道改修記念碑**(昭和38年から昭和41年にかけての上水道大規模改修工事を記念して建てられた碑)以上、3つの記念碑を瀬戸会館北側の広場に移設しました。移設に伴い、記念碑の説明看板を設置するとともに、アスファルト舗装を行いました。是非、一度、瀬戸会館北側においてになり、移設された3つの記念碑をご覧ください。



## いよいよ自治会館の建設に向け動き始めました!!

これまで寿集会所の自治会放送で地元の皆さんにお知らせしていましたが、**寿集会所解体に伴い放送は自治会館建設までの間、休止することになっています。**地元の皆様には何かとご不便をおかけいたしますが、ご了承くださいませようお願いいたします。

### おしらせ

## 事務員さんが、決まりました!

先月号でお知らせしていましたが人権対策協議会新居浜支部の事務員募集につきましては、4月11日付けで決まりました。



## ぴかぴかの1年生!

泉川小学校では、男子50名、女子56名、計106名の児童が入学し、9年間の義務教育がスタートしました。校長式辞の中で、高橋校長先生が、着ぐるみを着て、ピカチュウに変身した時は、ちょっとびっくり。そして、高橋校長先生は、ピカチュウからみんなへのお願いとして、「ひとのはなしを目と耳と心で聞く」という非常に分かりやすいお話しをされていました。

校長先生のお話に、ぴかぴかの1年生は、元気な声で返事をしていました。

これからも、子どもたちの声が、明るく元気に弾む学校・地域になるよう子どもたちを見守り、支援していきましょう。





# 語るう人権

毎年、瀬戸会館ご利用のサークルの皆さんにお願いして、人権について考える時間を頂いています。

2020年東京オリンピックは、東日本大震災からの「復興五輪」と言われ、聖火リレーが被災地福島からスタートしました。しかし、東日本大震災とそれに伴う東京電力福島第一原子力発電所事故から10年が経ちましたが、いまだに、被災者に対するいやがらせやいじめ等がなくなっています。特に、福島第一原発事故に伴う風評に基づく偏見、差別が今なお続いています。

そこで、今年度は「復興？絆？～福島の今～」のテーマで、一人ひとりが震災の記憶を風化させることなく、福島第一原発事故に起因する偏見や差別をなくすために、どんなことが大切かを一緒に考えたいと思います。

サークル活動の始めか終わりに、30分程度の時間を頂ければ幸いです。日時等は、今後相談させてください。



瀬戸会館 指導員 小西 裕久



# 「借福」「分福」「植福」

ある村に、おじいさんが住んでいました。家に大きな柿の木があり、毎年秋になるといっぱいの実がなりました。おじいさんは柿の実を全部取らず、一部のみを収穫しました。残した実をカラスが食べてもいいし、熟れすぎて

落ちてきた実は、地面の肥やしになると、まったく意に介しませんでした。収穫した実もすぐに食べる分以外は、あとで食べられるようにと、干し柿にしたほか、気前よく周りの人たちに配ったので、みんなからありがたがられていました。

また、おじいさんはその柿の木の隣に新しい柿の木を植えました。周りの人は口々に、今さら若木を植えても、生きていうちに、実ができるわけでもあるまいし……と言いましたが、おじいさんは大丈夫、大丈夫……と言って、ニコニコしていました。

やがて、おじいさんはある朝、ぽっくり亡くなっていました。

それから何年か経ち、おじいさんが植えた柿の木が生長し、いっぱい実をつけました。前からあった柿の木は老木になり、ほとんど実がなくなっていました。新しい木のおかげで、おじいさん亡き後もずっと、秋になるとみんながおいしく実を食べたそうです。

この寓話は、明治・大正時代を代表する文豪・幸田露伴の「幸福三説」という考えから創作されたものです。露伴は、幸福に遇う人とそうでない人の違いは、「借福」「分福」「植福」ができる人かそうでないかだと論じています。

「借福」とは、文字通り福を借しむことです。自らに与えられた福を、使い尽くしてしまわずに、天に預けておくことです。露伴は、その心掛けが、再度運にめぐり合う確率を高くする、と説いています。おじいさんの実を全部取らず、しかもすぐに食べない分は干し柿にした行為で表現されています。

「分福」とは、おじいさんが周りの人に柿の実を気前よく与えたように、幸福を人に分け与えること。自分ひとりの幸福はありえない、周囲を幸福にすることが、自らの幸福につながる、と説かれています。

最後の「植福」は、後世の人々の幸せのために「福の種」を植えることであり、3つの福の中でこれが最も大切だと露伴は言っています。おじいさんが、新しい柿の苗を植えたのはそれを指しています。

この寓話は、幸福な人生を送るためにもっとも大切なことを教えてくれているのではないのでしょうか。



# 瀬戸会館使用状況

令和3年4月22日現在

月	火	水	木	金	土	日
					1 休館	2 →
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20 男の料理教室 紙バンド レインボー-A エストレージャ	21 健康体操 ピンポン エストレージャ フラダンス	22 瀬戸児童館	23
24 ピアノクラブ 楠木クラブ すみれ ピンポン べっぴんさん fun	25 詩吟 ハンドメイド 若葉会 ZUNBA つまみ細工 フラダンス TDS 書神会	26 水美会 ピンポン 着付け 空手	27 紙バンド レインボー-A エストレージャ	28 健康体操 ピンポン エストレージャ フラダンス	29 ポーセラーツ	30
31 楠木クラブ ピアノクラブ ピンポン べっぴんさん fun						

赤色：午前  
青色：午後  
黒色：夜間